

【山梨県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
甲州市	塩山	「楽なモモづくり」にかける想いが地域農業を次世代につなぐ	1	H29.08	3
北杜市	天王原	農地整備により耕作放棄地がぶどう産地に大変身	2	H30.03	4
南巨摩郡身延町	身延	基盤整備を契機とした在来種「あけぼの大豆」の生産体制強化	3	R3.03	7
北杜市	米山ため池	ため池の防災工事により下流の被害を防止	4	R4.03	8
甲州市	神金	Uターン就農者が伝統野菜を継承し地域農業を守る取組	5	R5.03	9
笛吹市	梅沢・日向山	農地整備による営農作業の効率化・省力化に向けた取組	6	R6.03	10

「楽なモモづくり」にかかる想いが地域農業を次世代につなぐ【山梨県甲州市】

こうしゅうし

体制・人材
づくり

栽培作物
・方法

加工・出荷

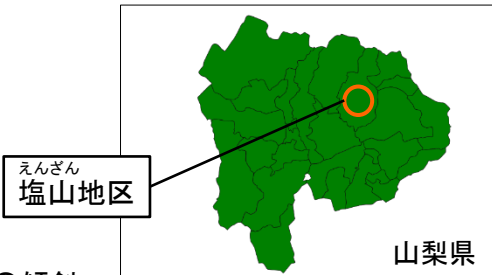
販売

【工夫のポイント】

- 「**楽なモモづくり**が出来なければ、この産地は続かない」ということから次世代につなぐ産地づくりの願いを込め、**集落農業組織「らくらく農業推進委員会」を設立**。幅広い担い手による労力を確保。
- **大型農業機械の導入**とともに、**農地を集積**し、共同作業による**農作業の効率化**を推進。

【取組地域の概要】

- 位置 こうしゅうし
山梨県 甲州市



- 傾斜
・約1/8程度
- 主要作物
・モモ
- 主な支援施策
・国営笛吹川農業水利事業(S46～S63)
・県営かんがい排水事業(S48～H13)
・畑地帯総合整備事業(S63～H12)
・中山間地域総合整備事業(H10～H16)
・広域営農団地農道整備事業(H1～H19)

基盤

樹園地の整備による労力軽減と生産の安定化

山梨県で初めてとなる既存樹園地の基盤整備に取り組み、緩傾斜化や園内道の整備を通じて、**大型農業機械を導入**。**薬剤散布・堆肥施用・草刈りなどの重労働を軽減**するほか、高品質なモモの安定栽培が可能となった。

(※農薬散布:50分→9分/10a、堆肥施用:1日→40分/10a)



整備された園地



機械による防除作業

基盤整備
(H10年～H16年)

【整備前】

高齢化や**担い手不足**が深刻化し遊休農地が増加していた。また、**急峻な地形**や**不整形で狭小な区画**のため、**機械化が困難**であり、**農作業に多大な労力**を要し、品質や収量が不安定な状態であった。



急峻な地形で狭小な区画

生産現場

次世代に引き継げる生産体制の構築

- 集落営農によって、管理作業などを大型機械による**共同作業として実施**。
- **低樹高栽培の導入**や品種毎に通りを揃えた並木植、植栽距離の固定化等により労力を軽減。



低樹高栽培の様子

流通

直売所にて農産物を無駄なく販売

- 1級品の農産物の系統出荷に加え、**これまで出荷できなかった2級品等を直売所で販売**することにより、所得増加を図る。



広域農道沿線の直売所

担い手

集落営農を通じた担い手の確保・育成

- 「**楽な営農**」の実現による**産地維持**を目指し、集落農業組織を設立。
- 講習会(栽培技術の向上)を開催し、**次世代への技術の継承**に努めている。



集落営農組織の設立

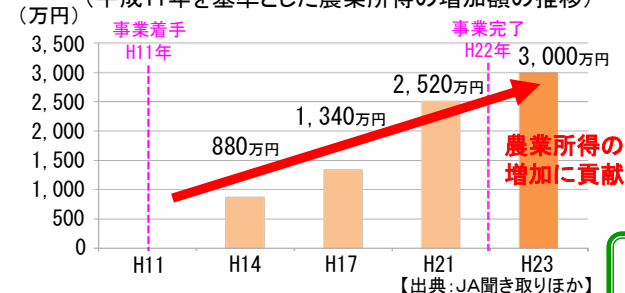
楽なモモづくり体制の構築と収益の向上

- **楽な農作業ができる生産基盤づくり**に向けて、山梨県で初めて既存果樹園の基盤整備を実施。事業を通じた**営農経費の削減**や**単収の増加**により、農業所得の増加を実現している。



「大藤のモモ」としてブランド化

塩山地区における農業所得増加額の推移
(平成11年を基準とした農業所得の増加額の推移)



【工夫のポイント】

- 耕作放棄地を解消するとともに、周辺農用地も含めた一体的な生産基盤によって、優良な農地団地を確保。
- 農地中間管理機構を活用しつつ、**農地を利用者別にゾーニング**することで**参入法人を含む多様な担い手を計画的に確保**。
- 近隣への醸造施設設置により、生産されたぶどうをワインに加工することで更なる高付加価値化を目指す。

基盤

耕作放棄地を活用し高収益な生産基盤を形成

- 区画整理や畑地かんがい施設など農業生産基盤の整備を行うことにより、**耕作放棄地を含む34haという大規模な農地団地が形成**され、生産性の向上を実現。



基盤整備
(H24年～)

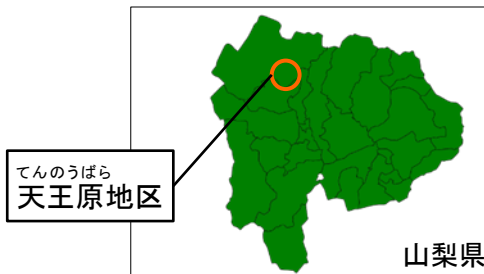
【整備前】

高齢化や他産業への労働力離れによる後継者不足が進み、耕作放棄地が増加していた。また、これらの耕作放棄地が餌場となり、**付近集落の農地へ鳥獣被害が拡大**するなど更なる悪影響も生じていた。



【取組地域の概要】

- 位置 ほくとし
山梨県 北杜市



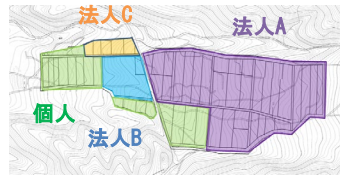
- 主要作物
・だいこん、パプリカ、ぶどう(醸造用)

- 主な支援施策
・農地環境整備事業(H24～H30)
・耕作放棄地再生利用緊急対策交付金
・強い農業づくり交付金
・企業の農業経営推進支援モデル事業(県単)

生産現場

生産エリア集積による営農の効率化

- 基盤整備により、**個人農家の団地や担い手の誘致を意図した団地など目的別に農地をゾーニング**。計画的な農地利用によってぶどうの生産が活性化。
- パプリカの水耕栽培施設を導入し、新たな産地形成にも取り組む。



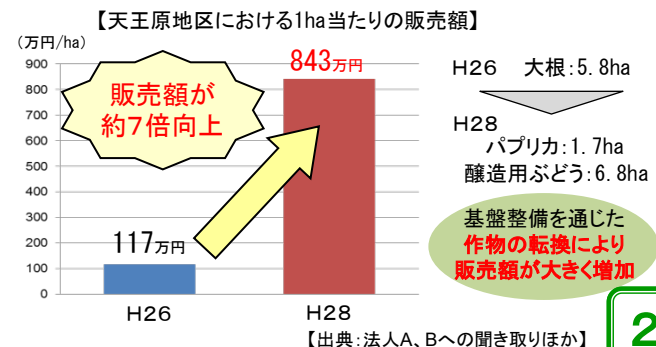
担い手への農地集積の促進

- 農地を集積・集約化し、農地中間管理機構を活用することで、**法人参入も含めた新たな担い手を確保**。(約8割の農地を担い手に集積)
- 参入法人を始めとする担い手が**地域と一体となって鳥獣被害の防止**に取り組んでいる。



計画的な農地集約による生産性の向上

- 基盤整備による営農環境の向上を通じて、ぶどう等の作物への転換を図るほか、農地の集約により、**単位面積当たりの販売額が大幅に向上**。
- また、農地近隣に醸造施設を整備し、**ぶどうをワインに加工**するなど**6次産業化を推進**することで**更なる収益力アップ**を目指す。



基盤整備を契機とした在来種「あけぼの大豆」の生産体制強化【山梨県南巨摩郡身延町】

みなみこまぐん みのぶちよう

農業の成長産業化

国土強靱化

【工夫のポイント】

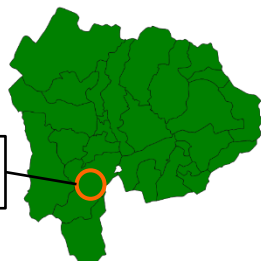
- 昼夜の寒暖差が大きく、霧が多く発生する特有の気候と、水はけの良い土壌により育まれた在来種大豆のブランド力強化を図るため、身延町あけぼの大豆振興協議会を設立。
- 水稲からの転換と荒廃農地の基盤整備により生産の拡大を図り、増加する需要に対応。
- 集出荷拠点施設の整備により品質管理体制を整備し、高品質化を実現。
- あわせて、加工施設を整備し新たな加工品開発に取り組み、6次産業化を町ぐるみで推進。

【取組地域の概要】

- 位置 みなみこまぐんみのぶちよう
山梨県南巨摩郡身延町(過疎、山村、特農)

山梨県

みのぶ
身延地区



- 主要作物
・水稲、大豆、小麦
- 主な支援施策
・中山間地域総合整備事業(H22～)
・中山間地域所得向上対策(H28～H30)
・農地耕作条件改善事業(H28～)

区画の拡大による生産性の向上

- 荒廃農地を整備し、農地の集積・集約化を図り、貸し借りしやすい環境を整備。
- 区画の拡大により農業機械の導入が可能となり、生産性が向上。生産量も増加し、安定供給を確保。



整備された圃場

基盤整備

(H22年～)

【整備前】

- 農業従事者の高齢化に加え、狭小で不整形な区画であるため、機械化が難しく、荒廃農地が増加。
- 町の特産である「あけぼの大豆」の需要は高まるが、規模拡大が図れず供給が不足。



狭小で不整形な区画

生産現場

各種補助金をフル活用した営農の効率化

- 管理作業機械等の農業機械導入による労働時間の削減。
- 試験ほ場を整備し、収穫量向上のための栽培方法を検討。



機械導入の講習会

加工・流通

施設整備による品質向上と6次産業化の推進

- 集出荷施設を整備し出荷基準の統一、品質向上によるブランド力強化。
- 規格外の枝豆、大豆を加工・販売し、6次産業化の推進と消費の拡大を図る。



選別機械の導入

担い手

担い手への農地集積の促進

- 農地中間管理事業を活用し、農業生産法人を含む新たな担い手に農地を集積。
- 県・JAと連携した栽培講習会を開催し、安定生産と品質向上の取組を推進。



指導員による普及活動

特産品の生産体制構築と収益力強化

- 基盤整備を契機に、「あけぼの大豆」の生産体制の構築と品質の向上等によるブランド力の強化により収益力を高め、農業者の所得が向上。



【「あけぼの大豆」としてブランド強化】

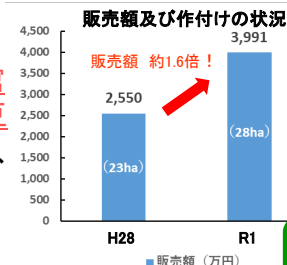
- 選別ではね出しとなった枝豆や大豆を活用し、新たな加工品の開発、製造。



シュウマイ

ポタージュ

- 観光業とも連携した枝豆の収穫体験や旅館等での提供により、枝豆及び加工品を広くPRし、更なる販売促進、販路開拓を目指す。



【出典：協議会聞き取りほか】

【対策のポイント】

- よねやま 米山ため池は、貯水量が2万5千m³で、下流に鉄道や住宅等が存在するため、万が一決壊した場合には大きな被害のおそれ。
- このため、3か年緊急対策において、耐震対策と豪雨対策を実施。
- ため池の防災工事が完了したことで、地震及び大雨による被害を回避。

【取組地域の概要】

○位置 ほくとし
山梨県北杜市

山梨県



よねやま
米山ため池

○ 主要作物
・水稻

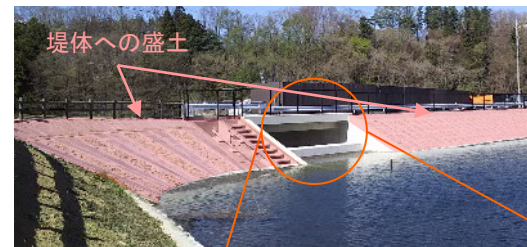
ため池の防災工事を実施

- 3か年緊急対策において、堤体の耐震性の確保と洪水吐の流下能力の向上を実施。



防災工事

(H30～R2)



堤体の決壊を防止し、下流の被害を回避

- 防災工事が完了したことにより、地震時の堤体安定性及び豪雨時の流下能力を確保。
- 堤体の決壊が防止され、下流の農地や鉄道、住宅への被害を回避。

地震時の堤体安定解析結果

安定解析ケース	計算斜面	安全率※	
		対策前	対策後
常時満水位	上流側	0.943	1.211
	下流側	0.798	1.219

※1.2以上を確保する必要



想定される被害

	想定被害額	影響を受ける施設
対策前 (決壊した場合)	4億3,000万円	鉄道 700m 住宅 2戸 等
対策後	被害なし	被害なし

対策の効果

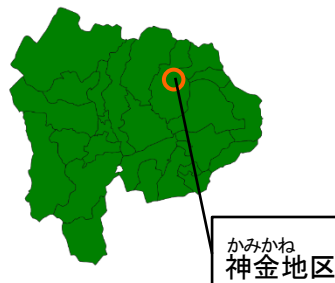
【工夫のポイント】

- Uターン就農者が基盤整備を契機に野菜の生産量を拡大。地域に根付いた伝統野菜を守り、地域資源の減少を防ぐ。
- 小学校や保育施設を対象とした収穫体験や料理教室などにより食育を推進。
- 給食センターや地元レストランに野菜を出荷し、地元食材に対する関心、愛着を持ってもらう地産地消の取組を実施。

【取組地域の概要】

○位置 こうしゅうし
山梨県甲州市(山村、特農)

山梨県



かみかね
神金地区

- 主要作物
・大豆、さといも、だいこん、たまねぎ 等
- 主な支援施策
・農地耕作条件改善事業(H30～)
・農地中間管理事業(R3～)
・果樹団地化促進支援事業(県単:R4～)

区画の拡大による生産性の向上

基盤

- 区画の拡大により農業機械の導入が可能となり、生産コストが低減。生産量も増加し、安定供給を確保。



31筆→13筆に集約

整備後

基盤整備
(H30年～)

【整備前】

- 傾斜が大きく不整形で狭小な区画であるため、作業効率が悪く営農に支障。さらに担い手不足により借り手が見つからず荒廃農地が増加。



整備前

生産現場

伝統野菜＋無農薬栽培で高付加価値化を実現

- 親元でUターン就農した若手農家が、新たに農園を設立。地域に根付いた伝統野菜を、農薬や化学肥料を使わず栽培することで高いブランド力が定着。



伝統野菜

有機大豆

地域の取組

食育と地産地消活動の推進

- 小学校や保育施設と連携し、収穫体験や収穫した野菜によるカレー作りのイベントを定期的開催。市内の給食センターにも野菜を出荷し、食育と地産地消の両面から、地元の魅力を発信。



収穫体験

カレー作り

加工・流通

インターネットを活用した販路拡大

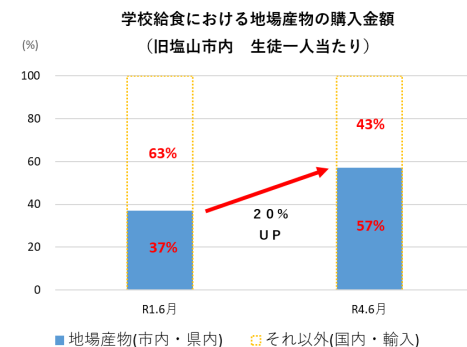
- SNSを通じて、本地域の野菜を広く周知し、各種イベントでも販売。収量の少ない伝統野菜は、首都圏のレストランへ直接出荷。
- 地域の個人宅への野菜配達も行うなど、新たな販路を拡大。



イベントへの出展

学校給食における地場産物の積極的な活用

- 食育活動を通して、生産者の顔が見える安全、安心な野菜として地域の人に広く認知。
- 学校給食センターでの地場産物の使用割合も年々増加。



【出典：甲州市学校給食センター調べ】



市内の学校給食

地域の野菜を使用した献立

【工夫のポイント】

- 高齢化等が進み、遊休農地も増加する中で、「急峻な地形や不整形かつ狭小な農地のままでは、この産地は続かない」という地域の思いから、基盤整備に取り組み、**担い手への農地集積・集約化を推進**。
- ほ場勾配の緩和に伴い発生する長大な法面を**リモコン式草刈機**により管理することで維持管理作業を省力化。

【取組地域の概要】

○位置
ふえふきし
山梨県笛吹市

山梨県



うめざわ・ひなたやま
梅沢・日向山地区

- 主要作物
・もも、ぶどう等
- 主な支援施策
・国営笛吹川農業水利事業(S46～S63)
・県営かんがい排水事業(S48～H13)
・水利施設等保全高度化事業
(R1～R8予定)

農地の大区画化と営農作業の効率化

【整備後】

- 区画の拡大により農業機械の導入が可能となり**生産コストが低減し、生産性が向上**。
- **ほ場勾配の緩和**により高所作業車が安全に作業できる**勾配(縦断方向8%)**に改良。



基盤整備

(R2年～R3年)
整備面積1.2ha

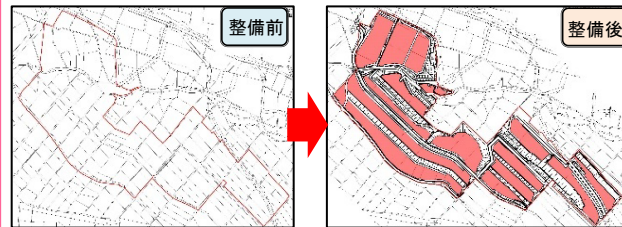
【整備前】

ほ場は**狭小で勾配も急峻(地形勾配15%～25%)**なため、**機械による農作業が困難**な状況であり、**耕作放棄地**も点在。



担い手への農地集積

- 農地中間管理機構を通じて、**地域の担い手へ農地を集積・集約化**(8割の農地を集積予定)。



担い手

法面の維持管理の省力化

- 勾配が緩和された長大な法面を**リモコン式草刈機**により管理することで、**除草作業の軽減及び作業の安全性が向上**。



リモコン式草刈機作業範囲
→傾斜角度45度以下・草丈1m以下

地域の取組

基盤整備を契機に作業の合理化・省力化が可能

- ももの生産量日本一を誇る山梨県の中でも、特に高品質で消費者からの評価も高い「**春日居の桃**」の産地において、機械作業等による農作業の合理化が可能となり、**作業労力を軽減**。

作業	草刈り	農業散布	肥料・運搬(収穫)	剪定等(収穫)
整備前				
	エンジン草刈り機	動力噴霧器	人力・モノレール	脚立
整備後				
	乗用草刈り機	スピードスプレーヤー	軽トラック	高所作業台車

- 特に**法面の草刈作業労力が大幅に軽減**され、作業の省力化が実現。

